

総合評価方式の評価について

総合評価方式を評価する視点

総合評価方式は、**価格**だけでなく、**技術力**もある会社と契約を結ぶこと、そして、**良い工事目的物**を完成させることを目的としている。

このことから、**入札段階**と**竣工段階**で評価する。

○ 総合評価試行件数

年度	件数
18	4件
19	10件
20	137件

入札段階の評価

・落札した会社は、**技術点・価格点共に上位**である。  
平成20年度では、その傾向が強く、技術点1位の割合も高い。

・技術点・価格点共に1位でなくても、**総合的に評価され**、落札している。

○ 総合評価方式の入札結果 14件 137件

試行年度(入札)	H18・19	H20
技術点1位	14% (2件)	49% (67件)
価格点1位	50% (7件)	46% (63件)
技術点・価格点共に1位	0% (0件)	14% (19件)
技術点・価格点共に1位以外	36% (5件)	18% (26件)
平均の入札参加者数	17.8社	18.9社
平均の技術評価順位	3.9位	2.6位
平均の価格評価順位	2.3位	3.1位

竣工段階の評価

検査結果から、全体的に、工事成績の平均点は、総合評価方式による工事で高い点数になっており、

**竣工段階でも、よい成績を残している。**

○ 工事成績(竣工検査)の比較 ※18年度竣工工事なし

竣工年度	H19			H20		
	種別	総合評価		一般	総合評価	
一般		簡易型	特別簡易型		簡易型	特別簡易型
成績の平均点	74.3	77.4		74.0	75(〃)	
		77.0	80.0		73.0 (76.0)	75.0
10段階評価	5	7		5	6	
		7	9		5(7)	6

※：( )内は特異値を除く数値

まとめ

以上により**総合評価方式**は、

- ・「価格と技術力を持ち合わせた会社との契約」
- ・「質の高い工事目的物の完成」

という目的に対して、効果が出ている。

○ 今年度実施にあたっての改善事項

課題	改善事項
事務効率の改善	・技術評価の事後審査方式への移行
	・採点業務の外部委託(「簡易な施工計画」を除く)
	・アドバイザー会議への一括意見照会(特別簡易型のみ)
地域貢献度の重視	・特別簡易型：地域貢献度評価型の設定